



平成30年2月1日
白鳥保育園
看護師

2月3日は節分です。子どもたちの「鬼は外！福は内！」の元気な豆まきの声が聞こえてきます。


子どもたちの中にあるウイルスや細菌が全て体の外に出ていきますように、そして成長とともに子どもたちが丈夫で健康に過ごせますよう祈っています。

 『カゼ』は油断大敵 

鼻やのどにウイルスや細菌が感染し、炎症を起こすものの総称を「かぜ症候群」といいます。軽く済むことも多いのですが、油断をすると悪化して、中耳炎、肺炎、気管支炎など、さまざまな病気を併発することもあります。ちょっと体調が悪そうなときは、無理をせず安静を心がけ、長引かせないようにしましょう。



2月17日(土曜日)は親子カレーパーティー

体調管理に気をつけて、
たくさんの参加をお待ちしております。



【B型インフルエンザ】

・お腹の風邪の症状に近く、下痢やお腹の痛みを訴える人が多い。・人と人の間でしか感染しない。

【C型インフルエンザ】

C型インフルエンザは、いったん免疫を獲得すると、終生その免疫が持続すると考えられています。



再びかかったとしてもインフルエンザだとは気付かず、ふつうの風邪とってしまうかもしれません。

・ほとんどの大人が免疫を持っているため感染しにくい。・かかるのは4歳以下の幼児が多い。

・感染してもインフルエンザとしてはかなり軽症で済むことが多い。

・症状は鼻水くらい。ほかの症状はあらわれないことが多い。

●園では先月、2名のインフルエンザA型が出ています。2月、3月とこれからまだまだ寒い日があると思います。手洗い・うがいをする。また、人ごみの多い所をさげ、マスクを着用するなど、部屋では一定の湿度を保ち、睡眠・休息・栄養のあるものをとるなどを心がけ、体調管理に徹していきましょう。

 3種類のインフルエンザウイルス 

【A型インフルエンザ】

A型インフルエンザは、他と比べて症状が激しい型です。通常一度インフルエンザにかかると、回復の過程でそのウイルスに対する免疫が体内に作られますが、A型はウイルスの形をどんどん変えて進化し続けるため、今までに獲得した免疫が機能しにくくなり、ワクチンの予測も立てにくいインフルエンザです。

・38℃を超える高熱。関節痛、筋肉痛。

・肺炎を含む、深刻な呼吸器の合併症。

・ものを飲み込むのが困難なほどの、のどの痛み。

・脳炎、脳症の合併症を引き起こすことがある。

